

広報



ごじょうめ

発行 五城目町役場 0188 52 2100(代)
 秋田県五城目町上樋口字向川原
 018-17 12ブロック2ロット
 編集 文書広報課
 印刷 湖東印刷所 0188 52 2430
 毎月 1日・15日発行 一部 35円



空から見た旧校舎 (写真提供・五城目高校)

お
あ
げ
し
ま
す

創立40周年の五高

幾多の変遷を乗り越えて

新たな発展を期して西野の新校舎に移転

それから三十年、増改築を繰り返した校舎も老朽化し、五十四年に現在の大川西野に新校舎が完成、移転されました。そしてその年に五城目高校の特色のひとつであった林業科が、普通科志向におされて閉科されました。また、勤労青年の学習の場となっていた定期課程も閉校になっています。

学校長の藤盛豊治氏は、創立四十周年記念誌の中で「在校生の大方が地元中学校の卒業の者によつて占められる日こそ、学習に運動に、本校の黄金時代が築かれるることは間違ひのないことあります」と語っています。

創立以来の卒業生は七千七百余名。春秋唯一の高校として、また町内教育機関の最高学府として、なほいづらの発展が期待されます。

秋田県立五城目高等学校は、創立四十周年を迎え、十月二十六日、同校で記念式典が行われました。

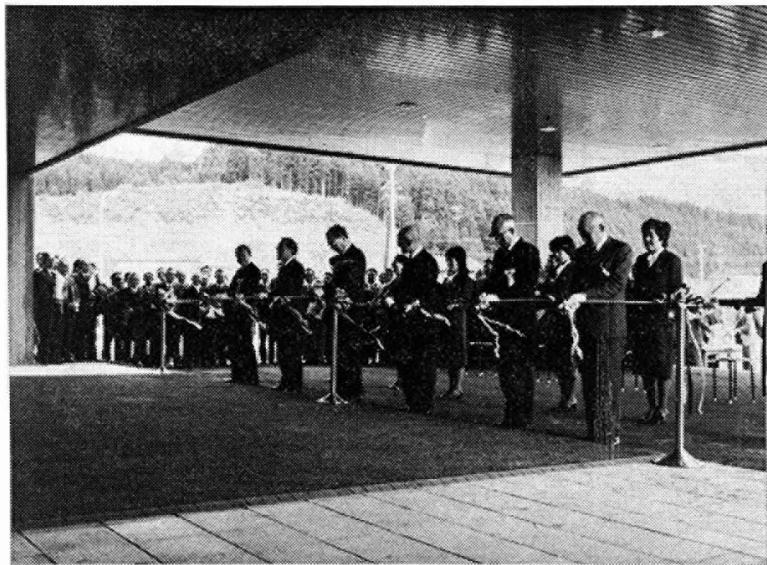
昭和十七年 町立実科高等女学校としてスタート

五城目高校の前身は、町立五城目実科高等女学校で昭和十七年五月、五城目国民学校で開校式が行われました。校舎は国民学校に併設しており、最初の入学生は五十五人と記録に残っています。翌十八年には秋田県五城目高等学校に、二十三年には学制改革により、秋田県五城目高等学校に改称されています。さらに二十五年には県への移管が実現し、秋田県立五城目高等学校として、普通科、林業科、家政科を持つ総合制高校となつたのです。

校舎が矢場崎グラウンドの隣りに建設されたのは、二十四年九月で、小学校校舎の一部を移転し、それに宿直室や用務員室などを増設しただけのものだったそうです。建設にあたっては期成同盟会が結成され、会員の昼夜をいとわない努力と多くの人たちの支援を受け、待望の独立校舎が完成したのでした。

十四名いた会員のうち、現存者は二木敬治氏と泉谷時治氏の二人だけで、当時、同校で教鞭をとっていた中村清次郎氏は、町広報の「わたしの教育生活」の中で「回顧して物寂しさを感じるとともに、五城目高等学校のますますの発展を祈るものである」と述べています。

また、建設当時の思い出を「講堂も特別教室もなく朝の集会は廊下を使用して、晴天の場合は外で行つた。小さい狭い校舎であったが、独立校舎と言うので、生徒の喜びはたとえようがなかつた」と記しています。



落成式の前に行われたテープカット



町長の説明をうける佐々木知事



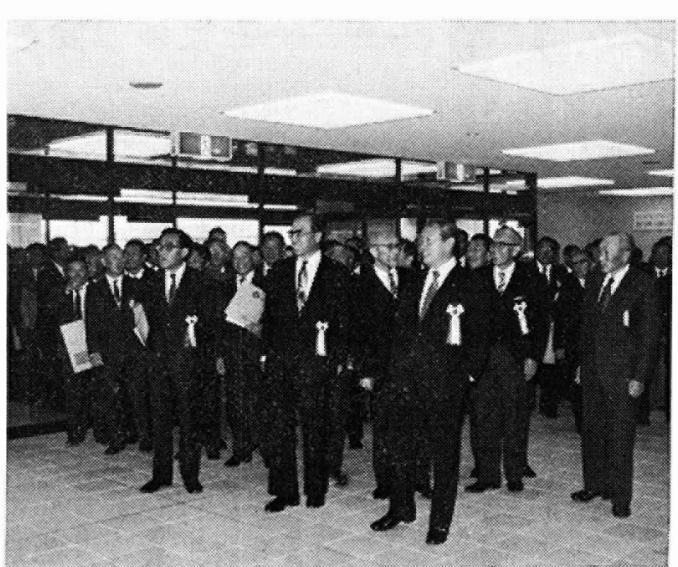
落成式は庁舎正庁で行われました

役場新築落成式

本日、五城目町役場新庁舎の移転落成の式を挙行するに当たり、謹んでごあいさつ申しあげます。

町の諸施設の整備につきましては、昭和四十四年度を初年度とし六十年度を目指す総合開発計画を策定して周囲の緑を尊重しながら馬場目川の水を前向きにとらえて総合的、かつ、体系的にその整備を進めて参ったところでございまして、庁舎の建設は、この開発計画策定の時点からの懸案でございました。

そして、これら諸施設の着工序列は、地域性、建設予定地の選定の難易とその他諸要件具備の淡漠、財政的な背景をふまえて町民と係わりの深いものから取りあげて、くという方針のもとに、五城目、内川、大川の保育園をはじめ大川小学校、町民センターなどの教育施設、恋地国設スキー場や広域体育館、屋内温水プール、テニスコート



落成式にはたくさんの人たちがお祝いにかけつけてくれました

役場庁舎の新築落成式は、十一月二日、新庁舎正庁で秋田県知事、国会議員などが出席して行われました。式では、伊藤助役が工事経過報告を行った後、加賀谷町長の式辞、来賓の祝辞などがありました。新庁舎は、三日から一般に公開され、芸能発表や写真展などのいろいろな祝賀記念行事も行われました。一般公開の三日間で庁舎を訪れた人は約一万三千人で、三日の祭日が最も多く一万人を記録しました。この後も町内外からたくさんの人たちが訪れ、また、町内の幼稚園、保育園、保育所の子供たちや小中学生も見学しました。一般公開では、案内役のコンパニオンの人たちが大活躍してくれました。この人たちは、町内各地区の若妻会会長さんたちです。

庁舎の新築落成を祝う

一般公開に一万三千人



子供たちには、見学の後に紅白の大福が配られました



庁舎の案内ではコンパニオンの人たちが大活躍



三日・正庁で行われた芸能発表



応対に忙がしい受付係

舍の規模、内容をどのようにするかということは勿論でございますが、この磯が庁舎を前の位置からこの地に移転するについて、関係住民への啓蒙、理解、了解を取りつけるためのご尽力に心から敬意を表するものでございます。

すなわち、今回の竣工式は単なる建物だけの落成式ではなく、役場の位置の変更の伴った移転新築である点を忘れてはならないと思います。この町民の全町的、かつ長期的な視野にたっての役場位置の変更に対するコンセンサスに評価を賜りたいものと感じてやみません。

かえりみるに、昭和三十年合併当時の役場庁舎は、大正八年に建設されたもので非常に狭いなため職員を収容するにもままならぬ状態でございましたために、昭和三十四年四月の中学校の統合に伴つて生じた旧五城目中学校校舎へ暫定的と言うお約束のもとに役場を移転し、この時も私が町長としてその衝に当つた次第でござります。

以来二十三年間、年々複雑多岐なる事務量の増大に伴う事務室の狭隘、加えて建物の老朽化、また職員の衛生面での問題などで能率の低下を余儀なくされひいては町民のみなさん非常に不利不便をおかけし、町民へのサービスを第一としております私たちとして忍び得ぬ状態になっていた次第であります。しかし、今日のあることを確信しこれ以上悪条件の、すなわち、これ以下の役場はないだらうとまで言われた建物で、苦情の片言も言わずひたすら執務に精励してきた役場職員に今こそ報いてみあげてくるものを感ぜずにはおられません。

思えば、この町は平安の期にすでに集落を形成する歴史的な背景の中で秋田、能代市の中間に位置

しながら経済的な要所となってきたところでございますが、この磯の目地区は、数年前まで悪土と呼ばれて人々から敬遠されてた土地でございましたけれども、河川改修や土地区画整理などの事業によりいろいろ整備されまして、今日は県立五城目高等学校をはじめならび、このたび庁舎が完成したことによりまして、官庁街の様相を深くし、馬場目川の水を前面にとらえた町づくりの核となるに至りました。

今後数年を出ず庁舎前のバイパスは、隣町井川町を経て飯田川町で国道七号線に接続し、中央線の改修は八郎潟町の七号線交差点までと馬川公民館前までそれぞれ延長整備される手筈になつております。新庁舎は町の交通体系からみても扇の要の位置となり、町の表玄関と相成つた次第でござります。

新庁舎が完成し、新しい節目を迎えた今、職員と共に己が職分の責任をかみしめて立派な庁舎を造りあたえてくれた地域住民の信頼に応えるために、心を新たにして活気あふれる田園都市の創造にして一杯はばたいていく覚悟でございます。

工事施工に参画いただいた各位には、心をこめて魂を打ち込み、種々な悪条件を見事に克服され、一つの事故もなく平方正當り一七万円台と言う最底の建築費をもつて、真心のじみ出た、見事な建築作品を仕上げてくださいまして本当にありがとうございました。厚くお礼を申しあげます。

終りに、五城目町の記念すべき式典に当り、役場の移転新築に直接、間接にお力添えくださいました皆様方に心からお礼を申し上げると共に町の限りない発展を確信して式辞といたします。

昭和五十七年十一月二日

役場庁舎

建設工事経過報告

五城目町百年の大計をもって、将来構想を実現する観点に立ち建設しました本町役場庁舎が皆様のご協力のもとにこのたび完成し、ご来賓多数ご臨席いただきましてここに工事経過報告を申しあげることのできることは誠に光榮であります。

役場庁舎の建設構想については町議会の意向を伺いながら議会議員と各種団体長からなる五城目町役場庁舎建設委員会を昭和五十三年度に発足し、議会と町民のコンセンサスを得ながら折から施行中の機ノ目地区土地区画整理事業で造成された保留地並びに開発公社所有地合計一二一七七一平方メートルを取得し、建設構想の検討に入り新町誕生二十五周年の意義ある昭和五十五年度に三ヵ年継続事業として総額十六億一千九百六十万六千円の予算を計上し、本町の特性を熟知されておる株式会社連合設計アクトに設計を委託し、工事の発注については分離発注方法を採用するとともに、町内に在住する多数の職人の技術を生かすため下請には町内業者、職人を使用することを条件として議会議員全員の立合いをお願いし、指名競争入札を執行し昭和五十六年一月に着工した次第であります。その契約内容を申しあげますと

一、建築工事

株式会社フジタ工業仙台支店
十億一千百万円

二、空調設備工事

羽後設備株式会社
一億七千七百八十二万円

三、電気設備工事	東北電気工事株式会社秋田支社 一億三千八百万円
四、給排水衛生設備工事	大館桂工業株式会社 六千五百七十六万円
五、エレベーター設備工事	東京日立エレベーター販売株式会社 二千九百九十万円
六、電話設備工事	北日電株式会社 千七百五十万円
七、防災行政無線移設工事	山立製作所東北支店 百七十六万円
八、外構工事	南秋土建 二千二百万円
九、衛生処理施設工事	山加建設株式会社 三百六十七万七千円
十、地耐力調査工事	協栄ボーリング有限会社 百十七万円
十一、土砂運搬工事	館岡物産 九十九万七千円
十二、その他付帯工事百万四千円	

工事の発注については分離発注方法を採用するところ、町内に在住する多数の職人の技術を生かすため下請には町内業者、職人を使用することを条件として議会議員全員の立合いをお願いし、指名競争入札を執行し昭和五十六年一月に着工した次第であります。その契約内容を申しあげますと

建物は、鉄筋コンクリート四階建銅板葺一部地下付で延床面積は八千五十四平方メートルであります。

本庁舎の建築に配慮しましたことは、本町に最大のサービスができるように町民が気軽に役場を訪れるようになります。

五、積雪寒冷多雨地域である本町の場合は、関連する国・県道の整備、防災行政無線の移設、建築確認の手続、使用木材の払下げ等に際しての国、県、五城目保健所、八郎潟町、営林局、営林署始め多くの

協力をお礼を申しあげて工事経過報告といたします。

昭和五十七年十一月二日
五城目町助役 伊藤 卓治

れ、用事をたせるよう工夫をこらしたこと。これは威圧感をやわらげる形状と配置を考え町民の方向からも庁舎に入れるように出入口を設けてあります。

二、昭和五十六年度は、国際障害者年であります。老人を中心して身体的に弱い方々に対する設備、工法に配慮したこと。これはローカウンター、エレベーター、身体障害者用トイレ、あるいはスロープなどに気配りしております。

三、現代的要請課題である省エネ対策を追求し、天井を低くし各階の空気貫流を遮断するため階段付近に遮断ガラス扇を設け、さらに寒風の方向及び国県道側を騒音防止をかねて複層ガラスにし、また換気時における暖房エネルギーの再利用、片側ろう下にして夏は通風をよくし、冬は西日をさえぎり自然採光を十分取り入れるようにしたこと。

四、機能の面において文書の管理のため各執務ブロックごとに書庫を設け、情報公開とという時代の要請に対応すべく永年書庫室の位置の決定、従来皆無に等しいままにして、工事費総額十四億七千五十八万八千円であります。

また、府用什器備品の調達については町内業者へ発注した木製の事務机をはじめ、努めて町内業者の納入を通じて納入いたさせましたが、その総額は概ね三千五百万円となつております。

建物は、鉄筋コンクリート四階建銅板葺一部地下付で延床面積は八千五十四平方メートルであります。

建物は、鉄筋コンクリート四階建銅板葺一部地下付で延床面積は八千五十四平方メートルであります。

建物は、鉄筋コンクリート四階建銅板葺一部地下付で延床面積は八千五十四平方メートルであります。

六、木材の町にふさわしく主に町内の木材を使用して木の伝統的な美の再現に努め、特に内壁やフローリングの木材は樹種そのものの生地を生かしすべて本物を使ったものであり、屋根を銅板葺にしたこと、外壁をコンクリート打放しにしたことと共に、経済性と物それ自体の特性の美しさを見せようという意図から採用したものであります。

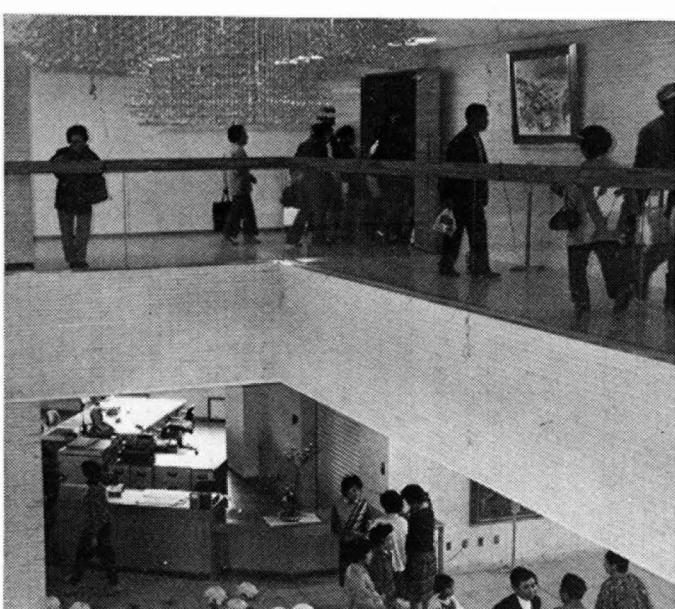
七、建物の高さについては、町のシンボルとして五階建ての要望もありましたが、町づくりの目標の一つである田園都市構想からして庁舎の周辺に現存する樹木の高さの最高が三十五メートルでありますので、これを基準に四面景観を念頭に四階とし、高さの最高を二十五メートルにおさえたものであります。

八、八千五十四平方メートルの建物の建築費は十四億四千百万円で、平方メートル当たり十七万八千円即ち十七万円台で仕上ったことは施工業者、設計管理人の献身的なお働きに基づくものと受けとめ心から敬意を表し、皆様方の前にご披露申しあげたいと思います。

最後になりましたが地方債の借り入れ、関連する国・県道の整備、防災行政無線の移設、建築確認の手続、使用木材の払下げ等に際しての国、県、五城目保健所、八郎潟町、営林局、営林署始め多くの

方々のご協力にお礼を申しあげて工事経過報告といたします。

三日の祝日にはたくさん的人が訪れました



三日の祝日にはたくさん的人が訪れました



四階には写真などが展示されました

△ご存じですか▽

道路・水路は国有財産

国有地、なかでも道路（里道といわれるもの）や、本路はいたるところにあり、その所在は、そのつど公図（法務局備付の図面）で調べなければ確認できない状況にあり、県や国でも把握しきれない現状です。建物の新改築による建築確認の際に、公図を見て自己所有

地の内側に赤線(里道)や青線(水路)が入っているのに気がつかれることで、建築主が県の土木事務所に相談にみえることがあります。

このように国有地である道路、水路については、その所在を確認した方から連絡があつて初めてその管理をしている土木事務所で対応する場合が多いわけです。

国有地を無断で使用している場合は、不法になりますので、自己所有地に隣接する国有地を使用していることが明らかとなつた場合には(使用例としては、宅地、田、

（煙、資材置場等）お近くの土木事務所用地課管理係へ相談されるようお願いします。

連絡を受けた事務所では現地を確認し、道路、水路等がそのかたちを保ち、その用をなしているものと認められる場合に、支障がなければ使用を許可しますが、支障があれば建築物等を取り除くことをお願いすることになります。

しかしながら、使用されている道路、水路等がその用をなしていないときや、そのかたちを失つているものと判断される場合は、なくなく使用者から買っていただく

ようにしております。
この場合の手続きとして、用冷
廃止依頼書に公図等の必要添付書類を添えて、土木事務所に提出していただきります。提出された書類は、当課へ送られ、用途廃止しと
うえ、東北財務局秋田財務部へ引
継ぎされます。この引継ぎがなされ
た後、国有地の払下申請書を提出
していくことになり、ここで適正と認められたときは売払い
が行われます。
なお、この他の詳しいことにつ
いては最寄りの土木事務所へご相
談ください。

お母さんのための 中学生のしつけ方 12 章

△ズバリでは乗ってきません
ズバリ、学校や友だちのことを
聞いても乗ってきません。そこまで
いくまでの雰囲気づくりが必要
です。

△訴えている場合もあるのです
子供が、反抗的であったり、暴
力的であっても、その実は親に対
して「訴え」や「救い」を求めて
いる場合も多いのです。背景に何
があるか探ってください。



全日本優良家具展で総理大臣賞に輝いた婦人室用収納セット

終戦後の家具産業革命に機会を逸した本県家具メーカーは、ほとんど県外の家具製品に圧倒されている。特にたんす生産の本町ははなはだしく、わずかに遅まきながら五城木工(有)は、県の指導をうけ、機械貸与や低利資金のあっせんなどにより、小規模ながらフランシュ構造の婚礼セットを生産し、県内各地や青森、岩手、仙台などへ移出しており、一部では高級桐箪笥も製作している。しかし最近では一般の需要減に加え県内製品は、県外品よりデザインや生産性があり、相当水をあけ

一は、県内で五城目木工(有)一社となつた。

なお、五城目木工(有)では、去る昭和四十四年三月に開かれた全日本優良家具展に、婦人室用収納セットを出品し、全国の一流家具メーカーを押さえて、最高の総理大臣賞を獲得した。

これは、県工業試験場の指導と町当局の後援のもとに、作品の表面に櫛(けやき)の老樹の木目を苦心探究して製作したものである。その製作意図と内容は、日本国民として永久に忘れることのできないあの残酷な原子爆弾のキノコ雲を櫛の木目を生かして前面に表わし、造型によつて永く国民の心底に止め置くために創作した。深奥の意を含ませた昭和の記念塔であり、東北六県では、全日本優良家具展で初めて勿来(なこそ)の関を越えて、秋田県へもたらした榮誉であつた。

世帯に異動があった場合は、届け出を早めに
国保に加入している家族の他の健康保険に入った方がい
合、または、その反対に会社退職したため他の健康保険を
た方がいる場合など、国保の異動が生じたときは、必ず
係まで届け出してください。

役場新築落成記念品の
引き換えについて

伝言板



お母さんのための
中学生のしつけ方

第一章

反抗期の子供の
心と開

卷之三

△訴えて、いる場合もあるのです

ズバリ、学校や友だちのことを
聞いても乗ってきません。そこまで
いくまでの雰囲気づくりが必要
です。

11月23日全県中学バスケット大会

い場合は、労働基準監督署、または公共職業安定所すぐ加入手続きをしてください。

なお、十一月は「労働保険適用推進月間」となっています。

十一月二十四日と二十五日の両日、「みづほ苑」(秋田市山王四丁目2-12)において、秋田労働基準局、秋田県雇用保険課、秋田公共職業安定所の担当係が加入手続きの指導、相談に応じますので、事業主(代表者)の印鑑を持参の上出席してください。

詳細については秋田公共職業安定所雇用保険適用課(電64-141)へお問い合わせください。

中小企業事業主のみなさん

労働保険の加入は

おすすめですか

労働保険(労災保険、雇用保険)は、一人でも労働者を雇っている場合は、業種のいかんを問わず当然(強制)加入しなければなりません。労働者が安心して働くため、労働保険の加入は事業主として当然の義務といえます。加入していく

お知らせ



12月 ごみ収集日

町内名	1回	2回	3回	4回	5回
広ヶ野	1	7	12	20	25
新里町	1	7	12	20	25
希望ヶ丘	1	7	12	20	25
田町	1	7	12	20	25
上田町	1	7	12	20	25
今町	1	7	12	20	25
御藏町	1	7	12	20	25
小池町	1	7	12	20	25
川原町	1	7	12	20	25
新町	2	8	15	21	27
一番町	2	8	15	21	27
古川町	2	8	15	21	27
紀久栄町	2	8	15	21	27
中川原町	2	8	15	21	27
館岩城町	2	8	15	21	27
築地町	3	10	16	22	28
畠町	3	10	16	22	28
新畠町	3	10	16	22	28
東磯ノ目町	3	10	16	22	28
西磯ノ目町	3	10	16	22	28
矢場崎	3	10	16	22	29
仲町	5	11	17	23	30
長町	5	11	17	23	30
米沢町	5	11	17	23	30
雀舎	5	11	17	23	30
昭辰町	5	11	17	23	30
大川一区	5	11	17	23	30
〃二区	5	11	17	23	30
〃三区	5	11	17	23	30
〃四区	5	11	17	23	30
馬場目	4	14	24		
富津内	4	14	24		
内川	4	14	24		
大川(一区~四区以外)	9	18	29		
森山	9	18	29		
馬川	9	18	29		(電62-3958)

休み 6日、13日、19日、26日、31日

<直接搬入料>

2トン未満積車 1回につき 600円
2~4トン未満 1回につき 900円
4トン以上 1回につき 1,350円

※収集日が多少変更になることもあるので広報のごみ収集日程表を必ず見るようにしてください。



老人ホームに
寄せられた善意

(社交ダンスパーティにおける収益金の一部を寄附したもの)
ひまじんBANK 代表 佐々木 晴

(九月二十三日寒風山まつりの仮装作踊り大会で「浦島の舞」が最優秀賞した時の賞金の一部を寄附したもの)
二十五日 六千四百七十二円

五千円 浦島太郎一同
代表 久保市勝雄
(ミステリーバス不動尊拝観時の賽銭を寄附したもの)

（亡父市之助様の香典返しとして）
・二十五日 十万円 仲町 福田 定
（亡父太郎様の香典返しとして）
・十月八日 七千百円 上山内 朝野 博典
（ミステリーバス不動尊拝観時の賽銭を寄附したもの）
十九日

（亡母ミサ様の香典返しとして）
・十四日 三万円 新町 村上 敏夫
（亡父確郎様の香典返しとして）
・二十四日 三万円 石崎 加藤 孝一

電022822081
宮城県栗原郡築館町
字萩沢土橋26

二十六日
なめこ
大川石崎 加藤 正松
上樋口 猿田美佐男

鯉 五城目町鯉釣り同好会
二十三日
甘講 30匁 田町 藤田 兼治

入学生の募集

△日時 12月7日 午前10時~午後3時
△場所 役場 三階会議室
△相談担当者 人権擁護委員、法務局職員
△募集定員 生産機械科、金属成形科、電気科、建築科、工業・工芸デザイナー各科二十名

△応募資格
卒業した者(昭和五十八年三月卒業見込の者を含む)または、これと同等以上の学力を有すると認められる者

△願書受付
卒業教育法による高等学校を卒業した者(昭和五十八年三月卒業見込の者を含む)または、これと同等以上の学力を有すると認められる者

町の行事予定

11月17日~30日

17日(水)
防署前8時~
・第五次農地取得等資金調査会(農業委員会)後1時半~
・乳児健診(保健衛生)前8時半~
10時~役場

18日(木)
・母親学級(保健衛生)後1時半~
五城目保育園
19日(金)
・三歳児健診(保健衛生)後1時半~
役場
20日(土)
・移動タンク貯蔵所立入検査(消防署)前8時~
・新入児童健康診断(教育委員会)後1時半~
広域体育館

21日(日)
・第五次農地取得等資金調査会(農業委員会)後1時半~
・乳児健診(保健衛生)前8時半~
22日(月)
・第五次農地取得等資金調査会(農業委員会)後1時半~
・乳児健診(保健衛生)前8時半~
23日(火)
・新入児童健康診断(教育委員会)後1時半~
広域体育館

24日(水)
・新入児童健康診断(教育委員会)後1時半~
各小学校

30日(火)
・乳児健診(保健衛生)後1時半~
役場